

フレイル高齢者の全国的な情報登録・連携システムに関する研究

1. 研究の対象

2015 年からこれまでに当センターのフレイル外来を受診され、
「高齢者のフレイル評価の意義に関する研究」にご参加いただいた方

2. 研究目的・方法

近年健康長寿に支障をきたすものとして注目されている概念に、虚弱（フレイル）や筋肉減少症（サルコペニア）があります。これらは比較的新しい概念であり、診断、予防、治療などについては、まだ十分な検討がおこなわれていないのが現状です。

本研究では、国立長寿医療研究センターを主施設として、全国の複数の研究施設と協力して、フレイルが疑われた患者さんの情報を集め、フレイルについての様々な臨床研究を行うためのシステムを構築することを目的としています。

当センターでは、「高齢者のフレイル評価の意義に関する研究」において取得した情報を用いて、本研究のデータベースへ登録します。本研究のために新たな検査、採血その他の医療行為を追加で実施することはありません。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ① 基本情報(年齢、性別、身体測定値、問診情報、服薬数など)
- ② 総合的機能評価(質問紙調査)
- ③ 神経心理評価
- ④ 身体機能・身体組成評価
- ⑤ 血液検査
- ⑥ 追跡調査(緊急入院、施設入所、要介護認定度、骨折、死亡などの有無)

4. 外部への試料・情報の提供

国立長寿医療研究センターのデータセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

研究代表機関

国立研究開発法人国立長寿医療研究センター ロコモフレイルセンター センター長
赤津 裕康

実施機関

地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 糖尿病・代謝・内分泌内科 部長
田村 嘉章

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者：

東京都健康長寿医療センター 糖尿病・代謝・内分泌内科 田村嘉章

東京都板橋区栄町 35-2

TEL 03-3964-1141（代表）

e-mail tamurayo@tmghig.jp